



目次

◇青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発掘！リンゴだけじゃねえべ？～：2017年度開催報告 …	1
◇青森まるっとよいどころ祭り 学生による取組の紹介 ……………	2
◇2017年度あおり立志挑戦塾 全日程終了 ……………	2
◇2017年度大学院公開セミナー「日本の中の青森、世界の中の青森」―地域経済活性化の視点から― …	3
◇2017年度外国語講座 ……………	3
◇公立はこだて未来大学との学会全国大会の共催―学術交流協定に基づく活動― ……………	4

青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発掘！リンゴだけじゃねえべ？～ 2017年度開催報告

2017年10月14日(土)、青森市新町通り(歩行者天国)と新町キューブにおいて、本学主催、香取薫研究室・佐々木てる研究室企画、青森市新町商店街振興組合後援の「青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発掘！リンゴだけじゃねえべ？～」を開催しました。同組合主催の「しんまち大地の感謝祭」等も同日に開催され、多くの方にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。

今回は4度目の開催となり、県内から青森市、鱒ヶ沢町、今別町、おいらせ町、風間浦村、佐井村、七戸町、外ヶ浜町、南部町、西目屋村といったこれまで参加いただいていた市町村のみならず、田子町にも新たに加わっていただきました。また、学術交流協定を結ぶ公立はこだて未来大学からも資料提供の形でご参加いただきました。

前日夕方のテレビ情報番組への学生出演など、様々な広報活動のかいもあり、当日は開始時刻の午前10時から多くの来場者があり盛況で、お昼すぎには商品が完売するブースが出始め、終了時刻前には多くの出展ブースで完売となりました。

毎年、多くの方にご好評いただいている本事業は、様々な企画を学生がプロデュースしています。詳細は次ページに掲載いたしますので、ご覧ください。

今年度も自治体、出展者、来場者へのアンケート調査を実施しました。今後の発展を議論する際の材料とするため、分析をし、結果の一部を、次号以降で取り上げる予定です。



開会宣言をする学生



会場の様子



青森まるっとよいどころ祭り 学生による取組の紹介

青森まるっとよいどころ祭りでは、毎年、学生が様々な企画をプロデュースします。本年は、「青森地域観光PR動画」、観光情報冊子「まるっりのよみトリ!?大冒険」、プレゼント企画「Let's青森まるっとチャンス！」などです。ここでは、後者2つを紹介します。

観光情報冊子「まるっりのよみトリ!?大冒険」は、青森まるっとよいどころ祭りへの参加自治体や青森市新町商店街などを紹介する情報冊子で、各地イチオシの名所、名産物、名物行事などを紹介しています。ページ中にQRコードが掲載されている場合、スマートフォンなどで紹介動画が視聴可能です。また、商店街の料理店、カフェ、雑貨屋、洋食器屋、洋服店、電器店についても、各店の特徴、おすすめ品などを紹介し、動画視聴のためのQRコードが掲載されています。

「Let's青森まるっとチャンス！」では、当日の来場者の方々に様々な事柄にチャレンジしていただきました。そして、3つのスタンプを獲得した方に、抽選で、各地域の豪華プレゼントが当たりました。チャレンジは、青森地域へのポジティブメッセージ作成、SNSによるメッセージ投稿などでした。ポジティブメッセージは、アウガ6階まちなかラボに展示されています。興味のある方は、是非まちなかラボにお越しください。



観光情報冊子
まるっりの
よみトリ!?大冒険



来場者による青森
地域へのポジティ
ブメッセージ

2017年度あおもり立志挑戦塾 全日程終了

本学が、青森県とあおもり立志挑戦の会（ARC）と協働で運営する人財育成プロジェクト「あおもり立志挑戦塾」が、11月11日（土）、12日（日）の第6回をもって今年度のすべての日程を終えました。

塾では、青森地域で活躍する人材を育成するため、塾長や講師など様々な分野の専門家から、事業を実施する上での難しさ、成功のための工夫を盛り込んだ情熱的な講演がありました。

全6回の塾を通し、塾生は様々な知識、県内各所における人的ネットワークを手に入れました。今年度の塾の成果は、来年2月に開催される「成果報告会」において発表される予定です。これから、塾生は自主的な集まりを重ね、これまでの塾の振り返りだけでなく、今後いかに行動し、プロジェクト等を展開していくかについての計画を発表します。



海外生活と現在の仕事について講演する種市講師

2017年度大学院公開セミナー

「日本の中の青森、世界の中の青森」—地域経済活性化の視点から—

本講座は、アウガ5階男女共同参画プラザ「カダール」研修室において、以下の日程と題目で実施され、延べ受講者数は計224名でした。本学大学院の担当教員等が、「日本の中の青森、世界の中の青森」を共通テーマに各自の専門的観点から、地域経済活性化に向けた提言がなされました。

第1回	6月23日(金)	地域経済活性化と地域金融
第2回	6月30日(金)	津軽海峡周遊観光の課題と可能性
第3回	7月 4日(火)	地域経済と地域の競争
第4回	7月11日(火)	国際観光の戦略的課題—八甲田・モヤヒルズにおける地域経営の視点から—
第5回	7月18日(火)	地域経済を活性化させるためのICT戦略
第6回	7月25日(火)	貿易と地域経済



地域経済活性化と地域金融 担当：國方准教授



貿易と地域経済 担当：河野教授

2017年度外国語講座

本講座は、アウガ5階男女共同参画プラザ「カダール」研修室および6階青森公立大学まちなかラボにおいて、7月から9月にかけて順次開講されました。今年度は「英語プレゼンテーション入門」が新たに設けられ、「ことばと文化II—外国語学修へのヒント—」、「英文学入門」、「観光英語入門」、「ビジネス英語入門」、「TOEIC入門」と合わせて計6コースが実施され、延べ受講者数は計60名でした。講座終了後に参加者から回答いただいたアンケートの一部をご紹介します。

ご意見・ご感想

- 文化と言語の関係を知り、モチベーション高く英語を学ぶ良い機会になりました。(ことばと文化II受講者)
- プレゼンテーションの際の文章構成や心構えなど、勉強になりました。また実際、発表を行ったことも良い経験でした。様々な年齢層の参加者と学び、刺激を受けました。(英語プレゼンテーション入門受講生)
- 毎日開講され、集中して取り組むことが出来ました。また、本1冊を初めて英語で読み終え、大変うれしかったです。文学と絵画との関わりを知り、文学により興味を持ちました。(英文学入門受講者)



ビジネス英語入門 担当：江連講師



英文学入門 担当：成田講師

公立はこだて未来大学との学会全国大会の共催 — 学術交流協定に基づく活動 —

10月28日(土)、地域文化教育学会が主催、青森公立大学および公立はこだて未来大学(学術交流協定締結校)が交流事業として共催した「地域文化教育学会第7回全国大会」が開催されました。

基調講演では、公立はこだて未来大学の片桐恭弘学長が『地域文化とICT：保存・体験・創造』という演題で、同大学によるICTを用いた地域文化保存の多様な取組を紹介しました。時代の最先端を走る体験型施設、創造的システムの解説に、参加者は熱心に聞き入りました。史跡、自然、歴史資料を活用した様々な事例が映像資料と共に紹介されました。

研究発表では、公立はこだて未来大学の大学院生を含む様々な研究者による地域・文化・教育に関する発表が行われ、地域貢献、地域活性化、文化学習、地域経済、言語教育など多岐にわたる研究課題に関して活発に議論がなされました。

加えて、「地域貢献について」議論するシンポジウムも開催し、青森公立大学および公立はこだて未来大学各3名の学生がパネリストとなり、本学の香取薫学長司会のもと、各々にとっての地域貢献について発表するとともに、専門性の異なる両大学の学生が、自らの取組の今後の展開可能性や、相手の学生に支援を受ける場合にどういったことを期待するかについて議論しました。その後、参加者も交え、学生による地域貢献について積極的に意見が交わされました。



基調講演を行う公立はこだて未来大学片桐学長



シンポジウム「地域貢献について」の様子

多目的サテライト 青森公立大学まちなかラボ



本学の教職員、学生とともに、地域社会に関する研究、各種プロジェクトを行う際のディスカッションの場、地域振興、産学官連携に関する相談窓口として、ご利用下さい。

〒030-0801 青森市新町1-3-7 アウガ6階
電話：017-718-7025 Fax：017-776-2082
E-mail：lab@b.nebuta.ac.jp
<http://www.nebuta.ac.jp/chiken/machinaka-lab/>
開室時間 13:00～21:00

※毎週日曜日、年末年始、アウガ休館日(毎月第2水曜日)は休業いたします。